

2022年(令和4年)7月16日(土) はぐるま共同作業所 みらぼ 開所式



はぐるま共同作業所
(みらぼ) 外観

地域の皆様、ご支援くださった関係者の皆様のおかげで、ようやく私共念願の新しい「はぐるま共同作業所(通称みらぼ)」が建ち、七月十六日に開所式を行いました。時折小雨の混じる天気ではありませんでしたが、午前中は二十二名の来賓の皆様、午後は二十六名のご家族、関係者の皆様に来ていただくことができました。

コロナ禍第七波の到来という中、残念ながらご出席いただけない方もいらつしやいました。「落ち着いたら、かふえの方に行きたいです」というお声もいただきました。ぜひ、その節はいらしてください。

仲間・関係者一同

はぐるま

みらぼホールにて 開所式



No.116

2022年8月5日

社会福祉法人
はぐるまの会

広報委員会

川崎市多摩区
菅馬場 1-19-24
TEL 044-946-1308

仲間自治会による手作り開所式

毛筆で式次第を、下書きなしで書き上げる、山田さん。その達筆さは誰もかきません。様々な式典の際に、常に依頼がかかります。



「仲間の発表を抜粋してお伝えします」
実行委員長の石暮です。

私たちは1983年「はぐるま共働学舎」といって、生活ホームからスタートしました。川崎市で最初のグループホームといわれています。それから39年このような立派な建物が建ちました。



わたしたちは、いつか誰にも遠慮しないで暮らせる、自分たちの建物が欲しいと、少しずつお金をためてきました。やっと「みらぼ」ができて嬉しいのです。これからも頑張りたい気持ちでいっぱいです。

1990年に「はぐるま仲間自治会」をつくりました。目標は【自分たちでできることは、自分たちでやる。自分たちでできないことも力を合わせてできるように変えていく】です。

初めのころ私たちは「独りぼっち・親にしてもらう生活」でしたが、できることを増やしていくと、してあげることもたくさんできるようになりました。お米の炊き方を、入ってきた仲間に教えてできるようになると、お母さんの助けになりました。生活する力が、仲間で教えたり・教わったりしながらついてきました。私たちは「移動する力」をつけることで、行きたいところへ行けるようにしてきました。最初は「仲間だけで、近所の公園に行って遊んでくる」ことが目標でした。迷子になったり、動けなくなったりを繰り返しながら、バスや電車の使い方を勉強し遠くまで行くことができるようになりました。念願の沖縄旅行は、何回も飛行機に乗る、羽田まで行くことを練習をしながら実現してきました。

「自分たちでできることは自分たちでやる」という目標は簡単なことではありません。涙を流しながら頑張った仲間もいます。でも乗り越えてきたのは、5つの仲間目標があったからです。この約束を守りあうことで、自分だけでなく仲間も合格して、みんなで楽しもうという考え方になりました。

○あきらめない／あきらめさせない ○仲間外れにならない／仲間外れにさせない

○いじめない／いじめさせない ○さばらない／さばらせない ○言いたいことをいう／言いたいことを言わせる
「全仲間映像で参加」仲間がつけてきた力が、この地域で役立てるよう一生懸命頑張りたいと思います。sさん「僕はここで、一生懸命働きます、できることを増やして、お客さんに喜んでほしいです」Yさん「私は地域の皆さんと交流がしたいです。仲間のためだけではなく、家族のみんな、地域のみんなと一緒に過ごせるようになるのが嬉しいです」

この建物の名前を「みらぼ」とつけました。私たちも、もっとできることを増やしたい。そしてこの地域みんなが元気になるように私たちも役にたたい。「みらぼ」の意味はみんなの未来をつくるポです。私たちにできることがあったら教えてください。いっしょにみんなが幸せな地域にしたいです。

内装の打ち合わせなど、建設途中から自治会はフル回転でした。いよいよ迫ってきた開所式前日、式の流れ確認、発表原稿の読み合わせで総仕上げにかかります。

たくさんのお花をありがとうございました



寄付を頂きましたありがとうございます

開所式をしてもよいのか迷いながらの開催でしたがお祝いで頂いた花に囲まれ華やかな気持ちで迎えることができました。この紙面を借りて御礼申し上げます。

(あいうえお順)

○みずほ東芝リース(株) 様
○(株) 有隣堂 様

はぐカフェ オープン記念お祝い

○新城テラス 様
○ハウスメッツガー・ハタ 様
○紅谷 卓男 様

○鬼海 紀子 様 ○倉持 洋子 様
○志岐 チエ子 様 ○佐藤 貴志子 様
○辻野 スミ子 様 ○島津 幸治 様
○高橋 真人 様 ○東郷 愛子 様
○野瀬 佐知子 様 ○中川 極 様
○原口 三重子 様 ○松井 隆一 様
○前田 優子 様 ○巻山 協子 様
○丸山 玉枝 様 ○山本 糸子 様
○山岸 直保・武子 様

団体名 (あいうえお順)

○アーク川崎 様
○エリーズカフェ 様
○NPO法人多摩川エコミュージアム 様
○川崎市立下布田小学校 様
○川崎市立中央支援学校 様
○川崎市立中野島中学校 様
○菅地区社会福祉協議会 様
○菅町会 様
○和太鼓里空 様

○記念樹(あおだも) 松尾工務店 様
・アーク川崎様・アトリエアップルズ 様
○記念絵画 松尾工務店 様
○記念品(時計) (株) ブルーマ 様
○岩田 洋子 様 (仲間自治会へ)

皆様の温かい応援を受けて、この地域に貢献できるよう、見守っていただければ幸いです。本当にありがとうございました。

個人名 (あいうえお順)

○金子 良夫 様
○カフェ・ド・シュロ 様
トランサイド珈琲 様
○川崎信用金庫 中野島支店 様
○タニコー(株) 様
○(株) 日東 様
○日本ミクニヤ(株) 様
○ままとんきつず 様
○原田管理商会 様

○五十嵐 豊 様 ○伊藤祥子 様
○内田唯一・幸子 様 ○大内文男 様
○奥田 栄 様 ○金子 良夫 様

社会福祉法人 はぐるまの会

理事長 紅谷 卓男
仲間自治会
職員会関係者 一同



津久井やまゆり園へ

献花をしに行つて来ました

本岡 敬子



相模原市の知的障害者施設「津久井やまゆり園」で平成二十八年七月に入所者ら四十五人が殺傷された事件で、発生から六年となる七月二十六日、現場跡地に再建された同園で追悼式が開催されました。神奈川県などが主催する追悼式が事件発生日に開催されるのは、今回が初めての事です。

式には犠牲者の遺族をはじめとした関係者六十二人が参列し、犠牲者に黙とうを捧げました。黒岩知事は式辞で、事件に触れたうえで「私たちは『当事者目線の障がい福祉』が当たり前になる世の中になるよう、全力を尽くします」と誓いを述べました。式典終了後には、園の広場に設けられた「鎮魂のモニュメント」に多くの花が供えられました。

はぐるま自治会代表として長原綾さん、石暮由美さん、山田俊輔さんは、金田職員、本岡職員と共に、献花をしに行きました。事件のあった建物は建て替えられ、今後は地域に開き、横浜の芹が谷と二か所に分散して生活していきます。虐待のニュースは後を絶ちませんが、表面的な事柄しか報道されず、事件の背景にある現実はあまり知られていません。多くの当事者が見守る中、事件を風化させずに、検証を続けていくことが重要だと感じました。

私たちの日々の支援が当事者目線に立てているのかを振り返り、障害のある仲間たちが地域で生活していくためには、社会を構成している一人一人が成熟していかなければならない、と気の引き締まる思いでした。



静かな山間の鎮魂のモニュメントの前で、普段は賑やかな自治会代表の三人も神妙な面持ちで手を合わせていました。



とれたて野菜
がいっぱい！
サラダランチ



新鮮な野菜と
心を込めて作っ
た自主製品です。
ご来店お待ち
しています。



ピカピカの作業場
で、一生けんめい
仕事をしています！

